

**業界横断で使用済みプラスチック容器回収実験開始**  
**相模原市立橋本小学校 × 相模原 SDG s パートナー企業 三友プラントサービス**  
**SDG s をテーマに児童と資源化に取り組む**

相模原市立橋本小学校（校長：佐藤 美佳）は2023年8月28日（月）から9月23日（土）の期間に、使用済みプラスチック容器の回収実験を実施します。

本取り組みは、学区域内にある相模原市 SDG s パートナー企業である三友プラントサービス株式会社（本社：神奈川県相模原市、代表取締役社長：小松 和史）と共に行います。三友プラントサービス株式会社は使用済みプラスチックの再資源化技術開発・実用化推進に取り組む共同出資会社である株式会社アールプラスジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：横井 恒彦）へ資本参加しており、その活動の一環として、同じく資本参加しているカルビー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO：江原 信）、サントリーホールディングス株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：新浪 剛史）、株式会社ヤクルト本社（本社：東京都港区、代表取締役社長：成田 裕）、リスパック株式会社（本社：岐阜県岐阜市、代表取締役社長：大松 栄太）の5社と共に行う取り組みです。

橋本小学校は、相模原市（市長：本村 賢太郎）と三友プラントサービス株式会社が SDG s パートナー企業として小学6年生の総合学習「SDG s を学ぶ」のプログラムを市役所・学校・企業との産官学の取り組みとして構築して実施しています。4月に相模原市役所みんなの SDG s 推進課が SDG s についての授業を行い、5月上旬に三友プラントサービス株式会社が リサイクルや資源循環についての授業を行い、5月下旬にカルビー株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ヤクルト本社、リスパック株式会社が各社のリサイクル取り組みについての授業を行いました。児童が使用済みプラスチックをどの様に回収していくのかを考え、6月に1週間回収テストを実施しました。今回は4週間の期間で1回目の課題から児童が考えた対策から実施をします。

回収した、使用済みプラスチックは品質・量を調査し、アールプラスジャパンが開発中のリサイクル技術への適合性を調査し、これらから将来的なプラスチック容器資源循環の可能性を探ります。企業の活動を児童へ伝えることにより、SDG s の理解度を高めてまいります。また、回収したプラスチックは児童のアイデアからリサイクルによる再資源化を行い、学校で活用、教育活動に活かしてまいります。

**【実験の概要】**

期間	2023年8月28日（月）～9月23日（土）
場所	神奈川県相模原市緑区橋本 1-12-20 橋本小学校
回収対象	プラスチックマークの付いた菓子袋、弁当・惣菜容器、プラスチックマークの付いた乳酸菌飲料容器、ペットボトルとそのキャップ
回収方法	水で洗い、乾燥させたものを参加児童が学校へ持参し、児童自らが作成した回収箱にて回収。6年生が他の学年の児童へ、声掛けや掲示物などにより参加も呼びかけます。またアプリを活用し、子供たちが作った動画やポスターがガイド機能で見られたり、対象物の写真を撮るとポイントが貯まり、ポイント利用で子供たちが作ったゲーム（分別ゲームやクイズなど）が出来るなど、活動へ参加・回収しながら楽しめるようにしています。

**【SDG s 学習内容】**

対象 年間目標	橋本小学校6年生 総合学習 SDGs の活動に関心をもち、取り組み、発信することを通して、「SDG s の町 HASHIMOTO」という自覚を一人ひとりが持つようになることが最終目標。
フェーズ1 （4月実施）	『SDG s について学ぶ』 4/25 相模原市役所 みんなの SDG 推進課（オリジナルカードゲームを使った授業）

フェーズ2

『リサイクルについて学ぶ』

5/16 三友プラントサービス 株式会社 による授業  
「ごみの行方・相模原市のリサイクル率・資源循環の取り組みについて」



5/31 株式会社アールプラスジャパン・カルビー株式会社・サントリーホールディングス株式会社・株式会社ヤクルト本社・リスパック株式会社 による授業  
「各社の取り組むリサイクル」



※児童の写真掲出にあたっては橋本小学校の許可を得ています。

回収についてのアイデア (橋本小学校)

6/28～7/4 第1回目回収



全学年の教室前や廊下に設置  
回収箱は、ゲーム性を持たせたり、質問・クイズの回収箱にするなどの工夫が見られた



掲示物でも呼びかけ



自分たちで各教室を回って回収の呼びかけをした児童たち



7/4 回収物の確認



7/19 1回目回収から2回目回収に向けた対策

8/28～9/23 第2回目回収 (予定)

9/25 回収物の確認 (予定)

フェーズ3

『使用済みプラスチック容器の再生化にチャレンジ』

再資源化されたものを使って再資源化フェスティバルを開催  
活動を通じて分かったことを纏めて、伝える  
活動を相模原市役所みんなのSDGs推進課、参加企業へプレゼン

## 【回収の流れ】



## 【回収にあたっての児童のアイデアからの工夫（制作物）と効率化に向けた取り組み】

回収ボックス	ポスター	映像	ゲーム	減容化
<p>廊下などへ設置 全学年で楽しく取り組みます</p>	<p>※学校での掲出 ※三友環境総合研究所/mint株式会社 開発の「ごみ分別アプリ」へ組み込み、見て楽しめます</p>	<p>ペットボトル・乳製液飲料回収方法 ① 飲み終わったら洗面台で洗おう</p> <p>児童が 出し方・分け方 の動画を 作りました</p>	<p>児童が Scratch で開発 分別ゲーム、クイズ</p>	<p>運搬効率を上げるために圧縮機</p>

## 【相模原市立橋本小学校について】

橋本小学校は今年で 50 周年を迎えます。各学年 4～5 クラス、支援級 6 クラスを設置し、全校児童 8 5 7 人、職員 6 2 名です。今年度は「地域に根ざした創意ある学校経営を推進する」「家庭や地域に信頼される」ことを目指し、地域との繋がりを大切にして、学習に取り組んでいます。

〈主な地域とのつながりの例〉

- ①七夕かざり… 1～6 年でのたてわりグループで「橋本七夕祭り」のかざりを作成しました。
- ②総合的な学習… 4～6 年の各学年が地域の方、企業と関わりをもって活動に取り組んでいます。
- ③コミュニティスクール… 学校と保護者、地域の方で集まり、カリキュラムに関して意見交換をおこなっています。

## 【相模原市について】

神奈川県北西部に位置し、多様な都市機能を持った中心市街地と、中山間地域を含む地区が共存しており、都心から近い都市的な地域であると同時に、水源を含む豊かな自然を有する政令指定都市。SDGs の推進に積極的に取り組んでおり、2020 年に内閣府より SDGs 未来都市に選定されています。オリジナル SDGs カードゲームの制作や SDGs 特設サイトの立ち上げなど、独自の取組を進めるとともに、持続可能な社会の実現に向けて 800 を超える SDGs パートナーとの様々な連携事業を進めています。

### 【三友プラントサービスグループについて】

廃棄物処理のプロとして「環境と資源を守る」を経営理念に事業を展開しています。2018年に70周年を迎え「廃棄物に対する目線を未来に。」を新たなブランドコンセプトに各企業様・自治体様へ安全・適正処理だけでなく、持続可能な社会の実現に向けたSDGsやカーボンニュートラルへの活動・取り組みを進めています。優れた技術やノウハウから「新しい価値を創造する」取り組みを実現し、あらゆる課題に全力で取り組んでいます。

三友プラントサービス HP : <https://www.g-sanyu.co.jp/>

三友環境総合研究所 HP : <https://www.sanyusoken.com/>

### 【オールプラスジャパンについて】

「すてる」をなくす「みらい」をつくるというパーパスを掲げ、循環型社会の実現を推進する40社による共同出資会社です。使用済みプラスチックの効率的な再資源化を実現する米国アネロテック社のケミカルリサイクル技術の社会実装に向け、参画企業の総力を結集して取り組んでいます。

株式会社オールプラスジャパン HP : <https://rplusjapan.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ>

---

三友プラントサービス株式会社 サステナブル・イノベティブ・デザイン事業部  
TEL : 042-774-1561 FAX : 042-779-6571 メール : info@sanyusoken.com